

法案へ意見 著名人も発信

安全保障関連法案をめぐり、俳優や歌手ら著名人の発言が目立っている。多くの憲法学者から「憲法違反だ」との見解が示されたことや、衆院の特別委員会で採決が強行されたことをきっかけに、SNSなどを通じて発信された意見は多様だ。(敬称略)

●田村淳（お笑い芸人）



安全保障関連法案可決… 国民への説明が不十分だと認識しながら可決へ… 国民がこの法案の理解を深めないで賛成、反対の判断できないと思う。政府は説明の努力 国民は法案理解の努力 共に必要だと感じました お前が政治を語るなど言う人へ 僕も国民なので語りたいです。

(7月15日、ツイッターで)

●つるの剛士（タレント）



「反対反対」ばかりで「賛成」の意見や声も聞きたいなあって報道やニュース観(み)ていていつも思う。賛成派だって反対派だって平和への想(おも)い、戦争反対の想(おも)いは同じ。

(7月15日、ツイッターで)

●岸田繁（「くるり」のボーカル）



長い時間掛けてでも、武器も持ち他所(よそ)を侵略する側に自分はおらんようになりたいたと強く思う。

(7月15日、ツイッターで)

●長渕剛（歌手）



どの時代でも、戦争になった場合、子どもたちが銃を持っていくのです。そして犠牲がどんどん出る。僕ら行かない人間が語るべきことは、絶対にこういうことをしないようにするにはどうしたらいいか、ということ。

(7月19日、テレビ番組で)

●久保田利伸（歌手）



殺さない、殺されない。この時代、この平和ルールを保持する国がどれだけ尊(た)いものか。

(7月22日、ツイッターで)

●渡辺謙（俳優）



一人も兵士が戦死しないで70年を過ごしてきたこの国。どんな経緯で出来た憲法であれ僕は世界に誇れると思う、戦争はしないんだと！複雑で利害が異なる隣国とも、ポケットに忍ばせた拳(こぶし)や石ころよりも最大の抑止力は友人であることだと思う。その為(ため)に僕は世界に友人を増やしたい。絵空事と笑われても。

(8月1日、ツイッターで)

●高田延彦（元プロレスラー）

憲法違反だって言ってるじゃないの。時の政権が姑息(こそく)な手法で好き勝手に貼り付けたインスタント安保法案がまかり通ることは絶対に許せませんよ。

(8月8日、ツイッターで)

●今井絵理子（歌手）

戦争を経験していない人が賛成！というのは、どこか説得力がないでしょ。今の日本の流れを拝見すると、どこかプチ戦争なら賛成！みたいに見えるのはわたしだけでしょうか？

(8月15日、ツイッターで)

●竹下景子（俳優）



私の父は、3年間シベリアの捕虜収容所で抑留されました。凍土に眠る戦友に対して申し訳ないと言い続けていました。母は女学生でしたが、大空襲で防空壕(ごう)に避難していた同級生何人もが焼死しました。日本が戦争する国になれば、被害者であるのと同時に加害者にも成らざるを得ません。

また、かつて文化や芸術が戦意高揚の手段として用いられ、その一方で自由な思想や表現が弾圧を受けた事実を私達(たち)は記憶しています。日本を二度とそのような国にしてはなりません。

ふるさとを大事に思う一人として、そして芸術文化に関わる者のひとりとしても安保法案に強く反対します。

(8月25日、コメント)

説明・理解、ともに必要 ■友人であることが抑止力